

平成30年度 年間指導計画

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	農業	科目	総合実習	単位数	2	学年・学科	2学年・E科
教科書	なし		副教材	農業技術検定テキスト			

学習目標	○日本農業クラブ活動や資格取得の学習をとおして学習意欲や進路意識、自ら学ぼうとする力を育みます。また、就職試験や進学試験に対応した基礎学力を身につけ、総合的に学習していきます。
学習方法	○学校農業クラブ活動を通して、問題解決能力や自発的、創造的な学習態度等の育成を図ります。 ○日本農業技術検定の資格取得に向けて取り組みます。 ○小論文作成の学習を行い、自分の意見を整理し、分かりやすく説得力を持って人に知らせる力の向上を図ります。

	評価の観点	評価の観点の趣旨	学期	重み付け	割合	
					審査	審査以外
学習評価	a 関心・意欲・態度	農業各分野の将来のスペシャリストに必要な問題解決の能力や自己教育力などの育成するために、農業と環境について興味・関心を持ち、課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて解決しようとする態度を身につけている。	前期中間	25%		25
			前期末	25%		25
			後期中間	25%		25
			後期末	25%		25
	b 思考・判断	農業各分野の将来のスペシャリストに必要な問題解決の能力や自己教育力などの育成するために、農業と環境に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断することができる。	前期中間	25%		25
			前期末	25%		25
			後期中間	25%		25
			後期末	25%		25
	c 技能	農業各分野の将来のスペシャリストに必要な問題解決の能力や自己教育力などの育成するために、プレゼンテーションの基礎的な知識、技術を身につけ、データをまとめることができる。	前期中間	25%		25
			前期末	25%		25
			後期中間	25%		25
			後期末	25%		25
d 知識・理解	農業各分野の将来のスペシャリストに必要な問題解決の能力や自己教育力などの育成するために、農業と環境に関する基礎的な知識を身につけ、環境保全・創造の重要性を理解している。	前期中間	25%		25	
		前期末	25%		25	
		後期中間	25%		25	
		後期末	25%		25	

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点				単元の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間	○春季特別実習 ○専攻班学習 ○意見発表作文 ○校内意見発表会	・3研究班の専攻実習を行います。 ①「植物バイオ研究班」 ②「環境バイオ研究班」 ③「森とみどりの研究班」 ・農業クラブ活動として、各テーマの区分(食料・生産 環境 文化・生活)における自分の意見を文章にまとめて、発表します。	○	○	○	○	a: 植物・環境・森林に関する各分野に興味関心を持ち、地域の課題を解決しようとする態度が身についている。 b: 自然環境の保全に関する思考を深め、生物の生育過程や実験結果から分析できる判断力があり、地域社会にその成果を表現することができる。 c: 植物の栽培や動物微生物の飼育に関する基礎的な技術を身につけ、責任をもって管理をすることができる。 d: 動植物の生育特性に関する知識を身につけるとともに、それらの生物を環境保全に有効に活用する知識を身につけている。	・実習レポート ・作物管理状況 ・実習態度 ・意見発表文
	○専攻班学習 ○夏季特別実習 ○農業鑑定競技	・3研究班の専攻実習を行います。 ①「植物バイオ研究班」 ②「環境バイオ研究班」 ③「森とみどりの研究班」 ・農業鑑定競技を通して、農業についての知識を学びます。	○	○	○	○	a: 各自のテーマに関する動植物や環境問題・地域産業の課題に興味関心を持つことができる。 b: 生育調査を通じて動植物に関する思考を深め、環境要因の影響による生育過程を調査し、その結果を表現できる。 c: 栽培の基礎的な技術を身につけ、責任をもって栽培管理をすることができる。 d: 動植物に関する基礎的な知識を身につけ、環境保全や地域産業振興に役立たせる知識を身につけている。	・実習レポート ・作物の管理当番状況 ・実習への取り組み態度 ・夏季特別実習

後期中間	<p>○専攻班学習</p> <p>○盛農祭への取り組み</p>	<p>・3研究班の専攻実習を行います。</p> <p>①「植物バイオ研究班」 ②「環境バイオ研究班」 ③「森とみどりの研究班」</p> <p>・文化祭展示として、その年に自分たちが取り組んだ研究についてまとめ、一般公開します。</p>	○	○	○	○	<p>a: 地域産業の環境問題等の課題に興味関心を持つことができる。</p> <p>b: 調査結果をデータをもとに適確に判断し、盛農祭で分かりやすく表現できる。</p> <p>c: 環境の違いによる植物栽培や動物飼育の基礎的な技術を身につけ、計画的に基づいて実験実習を進めることができる。</p> <p>d: 動植物に関する基礎的な知識を身につけ、環境保全や地域産業振興に役立たせる知識を身につけている。</p>	<p>・授業ノート</p> <p>・小テスト</p> <p>・実習態度</p> <p>・盛農祭</p>
後期末	<p>○専攻班学習</p> <p>○冬季特別実習</p> <p>○学科プロジェクト発表会</p> <p>○校内プロジェクト発表会</p> <p>○1年間の活動のまとめ</p>	<p>・3研究班の専攻実習を行います。</p> <p>①「植物バイオ研究班」 ②「環境バイオ研究班」 ③「森とみどりの研究班」</p> <p>・学科内プロジェクト発表会に参加し、各研究班の学習内容について理解を深めます。</p> <p>・各自の専攻班での学習についてまとめ、次年度の目標と計画を立案します。</p>	○	○	○	○	<p>a: 国内外や身近な環境の状況に興味を持ち、生態系に関する地球規模での課題に関心が高い。また、地球環境を保全する機能について探究しようとしている。</p> <p>b: 環境保全に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、その過程や結果を学科発表会で適切に表現できる。</p> <p>c: 環境の調査に関する基礎的な技術を身につけ、その技術を適切に活用できる。</p> <p>d: 環境保全に関する基礎的な知識を身につけ、森林や河川、農村・都市などの環境を良好な状態に修復・再生し、保全する方法を理解している。</p>	<p>・授業ノート</p> <p>・実習態度</p> <p>・発表会の態度</p> <p>・冬季特別実習</p>